

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括	28年7月
概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業・観光	4
倒産・雇用状況	5
そ の 他	5
指 標	6～7
トピック	8
インフォメーション	9

《業種別総括》

概況

28年7月

〔漁業〕

- ・ 7月の総水揚げは、漁獲量、漁獲金額ともに前年を大きく上回った。要因として、静内地区のたこ漁（前年比217 t増）、かれい漁（同100 t増）が豊漁となり、総体の数字を押し上げた。昆布漁も解禁となり好転に恵まれ順調な漁模様となっている。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 日高振興局による日高管内の15日現在の農作物生育状況は、牧草の収穫作業やサイレージ用トウモロコシの生育はやや遅れている。水稻の生育は平年並み。牧草の2番草の成育はやや遅れ。サイレージ用トウモロコシの生育は平年より3日遅れと発表した。
- ・ 「セレクトセール2016」、「セレクションセール」が開催された。結果は「セレクトセール」は、390頭が売却され、売却総額は149億4,210万円（税別）。「セレクションセール」は175頭が売却され、売却総額は25億2,590万円（税込）といずれも過去最高を記録した。

〔建設業〕

- ・ 町発注工事（新ひだか～広尾地区）の月中発注額は763百万円で前年を84百万円下回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額（北海道建設業信用保証株の保証請負金額）は3,746百万円で前年を1,537百万円上回った。
- ・ 月中建築確認申請件数（新ひだか～広尾地区）は、10件で前年を1件上回った。

〔卸・小売業・飲食業〕

- ・ 新冠町の北電水力発電所のトンネル内で熟成させたワインの販売が人気を集め、常時2万本を貯蔵、年間5千本を販売するまでになった。今後は年間1割程度のペースで本数を増やしていく考え。現在はワイン2万本のほか、道産の日本酒千本を貯蔵している。
- ・ 東胆振・日高地方では6月の天候不順の影響で、野菜の価格高騰が続いている。苫小牧市公設地方卸売市場では7月の主要品目の取扱量（1～20日）は前年比5.9%減少。卸売価格はハウレン草45%、キャベツ21%、レタス12%、キュウリ10%、玉ネギ17%高と軒並み高値となった。

〔観光・その他〕

- ・ 開発局などが道路景観を生かした観光振興を後押しする制度「シーニックバイウェイ」のセミナーが13日開催された。車で数日かけて多くの場所に立ち寄る広域観光は経済効果も大きい。すでに全道で14の指定、候補ルートがある中、日高は指定ルートの空白地帯になっており管内7町の観光関係者らが、ルート指定の必要性を確認した。シーニックバイウェイは、英語の「景観」と「寄り道」を組み合わせた言葉。

〔雇用〕

- ・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は前年に比べ、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

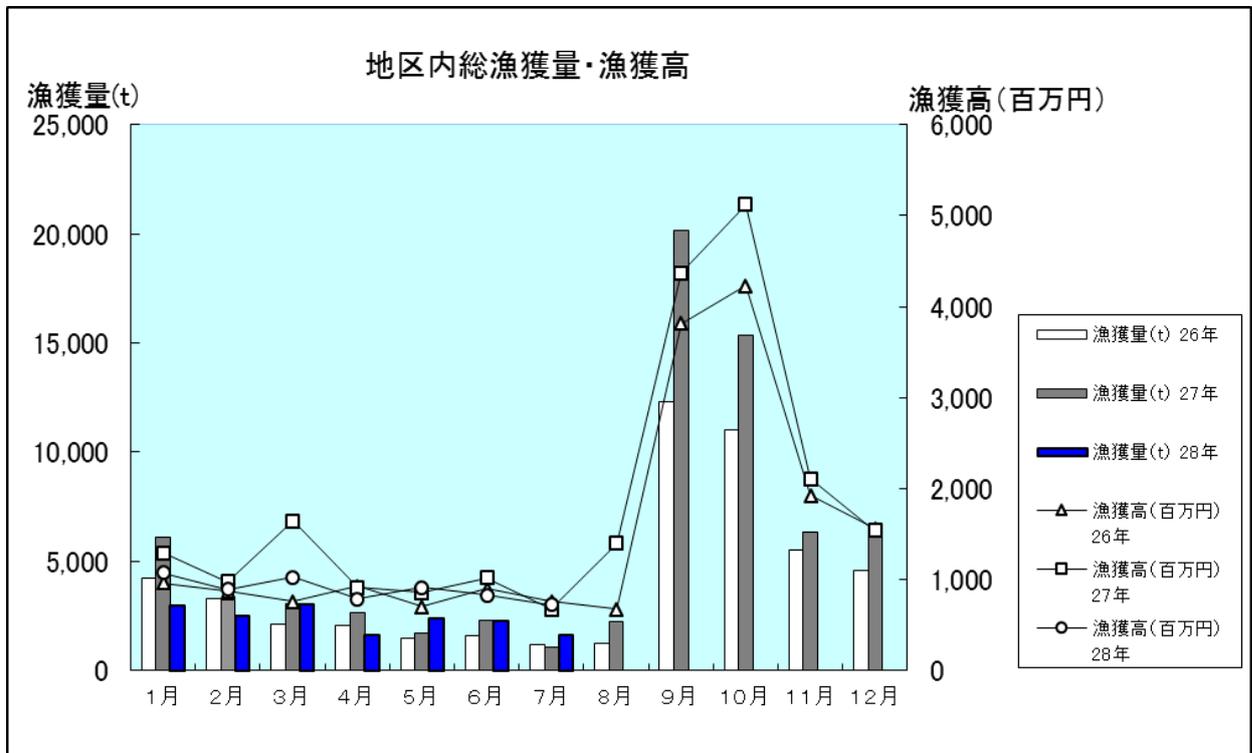
〔総括〕

- ・ 漁業は、漁獲量、漁獲額共に前年を大幅に上回った。静内地区のたこ、かれい漁の大幅な増加が要因。軽種馬生産業は「セレクト」「セレクション」セールが開催され共に過去最高の売上を記録した。建設業の月中請負金額（北海道建設業信用保証株の保証金額）は前年を上回った。食料品販売は昆布漁の開始、好天も続き売上は増加。家電販売は夏物商品の売上が好調。衣料販売は夏物衣料の販売が伸びているが動きは鈍い。自動車関連は車輛販売が引続き鈍い動きとなった。地区内景況は業種にばらつきあるも回復気配がうかがえる。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 たこ、かれい、ツブ、昆布漁等。〔沖合い漁業〕 めぬけ、きちじ漁等。

総漁獲量 1,628 t・金額 720百万円（前年同月比553 t増・50百万円増）。



定置網漁	14 t	6 百万円	(同	33 t 減	・	5 百万円減)
きちじ漁	5 t	4 百万円	(同	2 t 増	・	1 百万円増)
かれい漁	178 t	63 百万円	(同	67 t 増	・	21 百万円増)
たこ漁	444 t	203 百万円	(同	262 t 増	・	106 百万円増)
ツブ漁	371 t	169 百万円	(同	5 t 減	・	8 百万円増)
うに漁	19 t	25 百万円	(同	6 t 増	・	8 百万円増)
さんま漁	3 t	4 百万円	(同	増減なし	・	1 百万円増)
めぬけ漁	7 t	4 百万円	(同	3 t 増	・	1 百万円増)
なまこ漁	7 t	20 百万円	(同	5 t 増	・	14 百万円増)
昆布	135 t	138 百万円	(同	58 t 増	・	68 百万円増)
その他	445 t	84 百万円	(同	310 t 増	・	36 百万円増)

- 7月の総水揚げは、漁獲量、漁獲金額ともに前年を大きく上回った。要因としては、静内地区のたこ、かれい漁が大豊漁となり総体の数字を押し上げた。昆布出荷量も大幅に増加した。昆布漁が始まり、好天続きで採取日数が多かったことから、採取量も増加し、出荷量、金額共に前年比大幅に増加した。

道漁連は、本年度の道内コンブ生産予想を昨年度実績（1万6,763トン）並みとなる1万6,600トンと発表した。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・国内最大級の競走馬の競り市「セレクトセール2016」が11、12日に開かれ、1歳と当歳馬479頭が上場、390頭が売却された。売却率は81.4%、売却総額は前年比17億6,860万円増の149億4,210万円（税別）と4年連続で過去最高の売上を記録した。最高額は2億6千万円、1億円以上の高額落札馬は23頭。また、1歳馬の競り市「セレクションセール」は19日に開催され、238頭が上場、175頭が売却された。売却率は73.5%、売却総額は前年比5億円近く増え、25億2,590万円（税込）と史上最高を記録した。最高額は54百万円、3千万円以上の高額落札馬は13頭。

〔畜産業〕

- ・黒毛和牛は、三石地区で出荷頭数118頭（前年90頭）金額12,276万円（同8,205万円）。価格は、子牛が87万円（前年65万円）、肥育牛は129万円（同116万円）。えりも地区は10ヶ月素牛が出荷頭数40頭（前年43頭）金額は3,166万円（同2,663万円）。価格は牡が83万円（同65万円）牝は72万円（同59万円）。国内産牛の出荷頭数の減少により高値での取引が続いている。

〔花き栽培〕

- ・7月の花き出荷実績は、1,369千本、金額114,461千円（前年1,340千本、122,967千円）。

建設業

〔公共工事〕

- ・町発注工事（新ひだか～広尾地区）は、件数65件、金額763百万円（前年57件、847百万円）工事発注状況をみると、前年同月比件数は8件上回り、金額は84百万円下回った。
- ・日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額は、3,746百万円（北海道建設業信用保証株の保証請負金額）。前年同月比1,537百万円、69.6%増加した。

〔建設業〕

- ・日高振興局は、管内7町の2015年度公共事業執行状況をまとめた。執行総額は87億700万円で、前年度比27.3%、32億7,400万円減少した。全町で執行額が前年度を下回っている。各町の執行額は、日高町1,310百万円（前年度比△32.9%）、平取町1,579百万円（同△20.0%）、新冠町585百万円（同△6.7%）、新ひだか町2,345百万円（同△14.9%）、浦河町1,217百万円（同△46.0%）、様似町1,173百万円（同△34.0%）、えりも町498百万円（同△22.4%）となった。執行額が最も減少したのは浦河町で46.0%減、新冠町は執行額が2番目に少ないものの6.7%減と最も減少幅を抑えた。

〔建築確認申請〕

- ・7月中受付建築確認申請件数（新ひだか～広尾地区）は10件で前年を1件上回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・ チップ材の出荷状況(広尾地区) は、数量が 878 t (前年 413 t) で前年比 113%の増加。出荷金額は 15,931 千円 (同 6,789 千円) で同比 135%の増加となった。

〔製 材〕

- ・ 建材、プレカット材等は町内外の建築業者や道内外からの受注安定し順調な稼働となっている。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・ 野菜類は、葉物類をはじめ全般的に前年並みで推移している。道内、道外産の玉ネギ、ジャガイモは6月の雨の影響で生産量が減少し入荷が少なく前年の約3割の高値となっている。ハウス野菜は6月の低温続きから出荷量減少したが、天候回復により幾分遅れを取り戻し、順調に経過した。静内産ミニトマト、新冠産ピーマンは出荷順調、価格は例年並みとなっている。

〔小売業・飲食業〕

- ・ 全国生産量日本一の夏イチゴ「すずあかね」を地元でもっと知ってもらおうと、浦河町は7月15日を「夏いちごの日」と決めた。夏イチゴはひだか東農協管内の浦河、様似両町の農家が04年から栽培を始め、ほぼ全量を東京方面へ出荷。ケーキなどに使われている。しかし、地元での流通が少なく知名度が低いことから、浦河町は消費拡大につなげようと、一般社団法人日本記念日協会(長野県)に7月15日を「ナナ・イチゴ」から「夏いちごの日」に制定することを申請し、6月中旬に登録された。15日には浦河、様似でイチゴのイベントを開催、両町の菓子店や飲食店で「すずあかね」を使用した3日間限定や数量限定の商品を販売した。また、浦河町と様似町の小中学校と保育所、幼稚園、老人ホームなどの施設へ「すずあかね」を提供した。

〔観光・その他〕

- ・ 日高振興局は、平成27年度の日高管内観光客の入り込み客数をまとめた。管内合計は前年度比3.5%、5万6,900人増の170万3,200人だった。日帰り客は伸びたが宿泊客は減少している。27年度の実績は、道外客は前年比1万1,100人増の27万4,800人(前年度比4.2%増)。全体の84%を占める道内客は4万5,800人増の142万8,400人(同3.3%増)。日帰り客は全体の90%の153万2,500人(同4.3%増)、宿泊客は同10%の17万700人(同3.2%減)。
- ・ 台湾と香港の旅行誌2誌の記者らが浦河、様似、えりもの3町と十勝管内広尾町を訪れ、各地の観光スポットを取材した。両誌は乗馬やアポイ岳登山など、記者やモデルの体験を中心に特集記事を掲載し、4町の魅力を伝えるとしている。台湾からは女性誌「女人下班後」(公称部数5千部)の取材陣4人、香港からは旅行ガイド「北海道2017年版」(公称4万8千部)の記者ら2人が取材を行った。今回の取材は、襟裳岬を挟んで連なる4町の観光関係者でつくる「四町観光広域宣伝協議会」(事務局・浦河観光協会)のPRがきっかけ。協議会のメンバーが昨年3月、台湾と香港に行き、乗馬や登山など地元の魅力をアピールした。浦河観光協会は「有名な観光地ではない4町を紹介してくれるのはありがたい。これを機に受け入れ態勢を整えていきたい」としている。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- ・ 当金庫管内（新冠町～えりも町）の倒産は、0件（前年同月0件）。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、1件（前年同月2件）。

〔道内の倒産〕

- ・ 北海道の倒産件数は30件（前年同月29件）、負債総額は15億6千万円（同49億6千万円）、倒産件数は前月比8件増加、前年比1件増加した。
(東京商エリサーチ)

〔全国の倒産〕

- ・ 全国の倒産件数は712件（前年同月787件）、負債総額は1,240億2千万円（同1,200億7千万円）。倒産件数は前月比51件減少、前年比で75件の減少となった。

〔雇 用〕

- ・ 7月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.47倍で前年比0.22ポイント増加、前月比も0.14ポイント増加した。有効求人数は1,031人で前年比126人増加、前月比では38人増加となった。有効求職者数は700人で前年比22人減少、前月比も47人の減少となった。全道の月間有効求人倍率は1.05倍で前年比0.09ポイント、前月比0.06ポイントそれぞれ増加となった。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- 7/10 第21回 プロキオンステークス (GⅢ)
ノボバカラ号 (新冠町 萩澤 泰博 殿生産)
- 7/17 第52回 農林水産省賞典 函館記念 (GⅢ)
マイネルミラノ号 (新冠町 ビックレッドファーム 殿生産)
- 7/30 第18回 小倉サマージャンプ (J・GⅢ)
マキオボーラー号 (浦河町 馬道 繁樹 殿生産)
- 7/31 第16回 アイビスサマーダッシュ (GⅢ)
ベルカント号 (新冠町 土居 忠吉 殿生産)
- 7/31 第64回 北海道新聞杯クイーンステークス (GⅢ)
マコトブリジャール号 (様似町 出口 繁夫 殿生産)

日高管内7町への平成28年度の普通交付税

日高振興局内

(単位：千円、%)

平成28年度の普通交付税額が決まった。

	平成28年度	平成27年度	増減率
	交付決定額	交付決定額	
日高町	4,479,867	4,629,727	▲32
平取町	2,672,822	2,736,106	▲23
新冠町	2,574,839	2,584,735	▲04
新冠町	5,928,859	6,104,068	▲29
浦河町	3,420,702	3,463,593	▲12
様似町	2,131,185	2,173,030	▲19
えりも町	2,342,186	2,512,572	▲68
計	23,550,460	24,203,831	▲27

日高管内7町への交付総額は前年に比べ約6億5千万円減(2.7%減)の235億5,046万円で、同2.3%減となった全道町村分と比べ減少幅は大きい。交付税の減少は、算定の測定単位の「人口」を、平成22年国勢調査人口から27年調査人口に置き換えた影響のほか、消費税率8%への引き上げによる地方消費税の増収分が、28年度から市町村に満額配分され、軽自動車税、固定資産税(家屋)増もあり地方交付税が削られた。

(注) 調査区域：浦河地区、新冠町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (平成28年7月現在)

(単位：人)

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	5,317	-107	-20	2,623	-15	-1
日 高 町	12,490	-140	2	6,359	-4	-2
新 冠 町	5,695	-47	9	2,738	15	1
新ひだか町	23,527	-357	-35	11,904	-79	-10
浦 河 町	12,815	-288	-5	6,779	-63	1
様 似 町	4,577	-100	-4	2,256	-10	0
えりも町	4,951	-120	-15	2,170	4	-5
日高地区合計	69,372	-1,159	-68	34,829	-152	-16
広 尾 町	7,197	-135	-9	3,457	-25	-5
大 樹 町	5,742	-42	-17	2,686	25	0
日高・十勝地区合計	82,311	-1,336	-94	40,972	-152	-21
札 幌 市	1,959,061	10,913	183	929,132	-14,125	235
江 別 市	119,195	-457	-40	55,924	483	53
石 狩 市	58,992	-187	-18	27,315	206	12
北 広 島 市	59,152	-237	-16	27,043	208	3
恵 庭 市	69,142	75	98	32,199	506	114
千 歳 市	96,094	621	11	47,833	773	96
石狩地区合計	2,361,636	10,728	218	1,119,446	-11,949	513
苫 小 牧 市	173,324	-445	56	87,320	483	39
厚 真 町	4,679	-30	0	2,134	7	-1
む か わ 町	8,674	-197	-8	4,401	-43	-2
胆振地区合計	186,677	-672	48	93,855	447	36
営業区域合計	2,630,624	8,720	172	1,254,273	-11,654	528

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

(資料出所：各市町村)

2 労働需給状況(平成28年7月)

(単位：人、%)

	浦河職安	全 道	前年同月		前 月	
月間有効求人数	1,031	88,609	905	86,287	993	88,592
月間有効求職者数	700	84,110	722	89,846	747	89,142
月間有効求人倍率	1.47	1.05	1.25	0.96	1.33	0.99

(資料出所：浦河公共職業安定所)

3 建築確認申請(平成28年7月)

(単位：件)

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	10	1	-9
(新ひだか町～広尾町)	28/4～28/7 累計	47	-8	

(資料出所：各市町村)

4 企業倒産状況(平成28年7月)

(単位：件、千万円)

	件数	金額	前同比(件数)	前同比(金額)	業種	地区
苫小牧管内	1	4	4	25		
うち新冠町～えりも町	0	0	0	0		
北海道	30	156	1	-340		
全国	712	12,402	-75	395		

(資料出所：東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(平成28年7月)

(単位：百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
130,263	3.64	2.05	49,162	2.14	3.52

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位：枚、百万円、%)

	28年7月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	176	-34.81	-26.97
交換金額	242	-22.44	-12.32
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所：浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

7月中の気象状況

(単位：℃、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	17.5	209.5	130.4	0.3	143.99	119.09	
広 尾	16.7	164.5	78.8	0.8	95.36	75.33	

(資料出所：国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(平成28年7月)

(単位：t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町静内	95,627	-2.0	45,560	-4.0	141,187	-2.6
新ひだか町三石	28,839	4.7	19,763	1.0	48,602	3.2
浦 河 町	59,301	-0.9	26,158	-3.7	85,459	-1.8
様 似 町	24,648	-2.0	12,180	1.1	36,828	-1.0
え り も 町	24,868	-1.0	10,519	-4.3	35,387	-2.0
広 尾 町	35,707	2.0	16,074	8.1	51,781	3.8

* 広尾町は28年4月分

(資料出所：各町)

トピック

日高振興局からのお知らせ

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくために、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。今回は、水産関係者による取り組みについて紹介します。

○ 津軽暖流と千島海流とがぶつかる好漁場を形成する日高沖には、夏が本格化する7月中頃から11月まで、イカの好漁場が形成され、全国（特に東北「青森県」）からいか釣り漁船が来遊し、こんぶ採取やさけ定置網漁業と併せて前浜を賑わせます。

今回は、この「イカ」について……。

○ 漁獲量：2013年の世界「イカ」の漁獲量は約330万トン、第1位は中国の92万トン（約28%）2位が約47万トンでペルー、3位が26万トンの韓国、4位に日本の約22万トン（6.8%）（FAO）。国内では、1位が北海道の約6万トン、2位が青森県の約5万トン、3位が長崎県1万6千トンとなっています。（2014農水省統計）

○ 消費量：ユダヤ教やキリスト教の一部宗派では「鱗と鰭のない魚は食べない」という戒律もありますが、かつて世界で漁獲されるイカの約半分を消費していた日本ですが、近年では中国での水産食品の消費の拡大や和食ブームなどにより海外でイカを食べる機会が増え日本での消費量は約3割まで減少とのこと。

○ 食用種：現在日本で食用とされている「イカ」は、「スルメイカ」、「ケンサキイカ」、「コウイカ」、「ホタルイカ」等19種程が知られています。

○ 語源：『イカ』その形状から「いかつい」「いかめしい」の『イカ』とする説や「い」が「白」を意味し「か」が「堅い」とする説などがあります。
『烏賊』水面に浮かんで死んでいると勘違いした「烏（カラス）」がつかばもうとして逆に襲われたことから、カラスにとっての「賊」のようなものから『烏賊』となった説が有力のようです。
『スルメ』墨を吐き、群れることから「スミムレ（墨・群れ）」が「スミメ」を経て転訛したものと考えられているようです。現在では、加工後の干物をスルメと呼び、材料であるイカをスルメイカと呼ぶのが普通ですが、古くは加工前のイカ自体もスルメと呼んでいたが、後に干物との呼び分けが必要となり「スルメイカ」という合成語が私用されることになったようです。

○ 朝食？：一般的に、イカは食事やお酒のおつまみ等夕食のおかずとなるイカですが、道内の一部地域では、イカは夕食ではなく朝食べるもの！（イガ、イガ〜と朝の漁師町を移動販売車で売りに来ます）、美味しいですよ。

○ 日高のイカ：日高管内で水揚げされるイカは、日の出から日没までの漁法で釣る「昼イカ」です。「朝いか」も美味しいですが、夕方に水揚げされたイカも鮮度抜群です。管内の鮮魚店や各店舗では、この採れたてのイカを販売や食するお店もあります。日高の採れたて高鮮度のイカをぜひ食卓に！！

～問い合わせ先～ 日高振興局産業振興部水産課（TEL:0146-22-9321/FAX:0146-22-7563）

インフォメーション

※ 「東日本大震災」の義援金の取扱が延長されました！

- ◎ 取扱期間 : 平成29年3月31日(金)まで
- ◎ 寄付先 : 日本赤十字社を通じて被災者の方々に配分されます。
- ◎ 手数料 : 無料
- ◎ 受取書 : 受取書の必要な方は後日、日本赤十字社から直接ご依頼人に送付されます。

※ ひだかしんきん「空き家サポートローン」の取扱を開始しました！

空き家の損壊が原因でご近所に迷惑をかけないか心配…

空き家を解体したいけれどお金はどうしよう…

- ◎ご利用いただける方 : 満20歳以上でしんきん保証基金の保証が得られる方。
- ◎お使いみち : 空き家解体費用および附帯する諸費用などに。
- ◎ご融資金額 : 500万円以内
- ◎ご融資期間 : 1年以上20年以内
- ◎ご融資利率(※変動金利) : 年2.20%または2.10%(リピートプラン該当の方)
- ◎最優遇利率(※変動金利) : 年2.00%または1.90%(自治体から空き家解体に伴う補助金を受給される方)
- ◎担保・保証人 : 不要です。

※ ひだかしんきん「空き家リノベーションローン」の取扱を開始しました！

空き家をリフォームして賃貸したい…

空き家をとり壊して敷地を駐車場に造成したい…

- ◎ご利用いただける方 : 満20歳以上で完済時の年齢が76歳以下の方、(株)ジャックスの保証が得られる方。
- ◎お使いみち : 空き家を賃貸するための改築・改装の費用、空き家解体後の駐車場等の造成費用や土地の有効活用に係る各種設備費用、空き家の防災・防犯上の設備対策資金。
- ◎ご融資期間 : 1年以上10年以内
- ◎ご融資金額 : 500万円以内
- ◎ご融資利率(※変動金利) : 年2.70%
- ◎最優遇利率(※変動金利) : 年2.50%(自治体から空き家の解体及び、空き家を賃貸するための改築等に伴う補助金を受給される方)
- ◎担保・保証人 : 不要です。

※ ひだかしんきん「リフォームローン」キャンペーン中！

●取扱期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)

変動金利型 基準金利3.80%(基準金利は平成28年4月1日現在)→優遇金利2.00%

優遇条件に該当で基準金利より年1.80%優遇

※ 別途、保証会社(一般社団法人しんきん保証基金)へお支払する保証料が必要となります。

◎優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ ひだかしんきん「カーライフローン」キャンペーン中！

●取扱期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)

お取引金利 変動金利型:基準金利3.20%→最優遇金利1.30%(保証料は別途加算)

固定金利型:基準金利4.00%→最優遇金利2.10%(保証料は別途加算)

子育て応援低減▲0.30%、29歳以下低減▲0.20%

※適用されるお取引金利は、当金庫とのお取引内容により異なります。

※子育て応援低減は、18歳以下のお子様がいる方が対象となります。18歳以上でも、大学や各種専門学校等に通われている場合は低減の対象となります。

◎優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ 詳しくは、当金庫窓口にお尋ねください。



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西1丁目83の59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町1丁目1の15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町197の23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014 様似郡様似町大通2丁目35の2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町170の1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通8丁目7の1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1-4 三井生命札幌共同ビル4階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」のATMが設置されております。

土曜日 ATM 稼働店: 本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店: 本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>